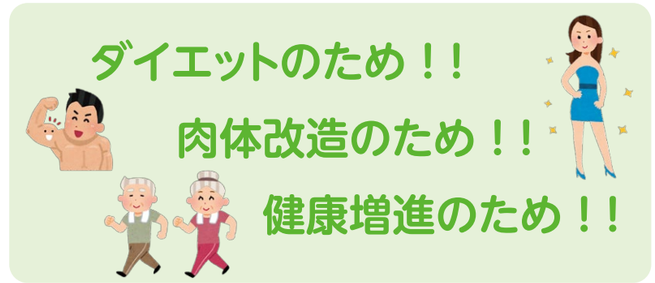
十四山スポーツセンター



運動には健康を維持増進するのにとても役立つ働きがあります。

スポーツ習慣を身につけ継続的に運動を行うには、ご自分が楽しいと思えるものを見つけることが大事です。そのきっかけとしてご利用ください。

◆料金

【1回券】

一般	中学生以下
250円	120円

【回数券】

一般	中学生以下
2,500円 (250円×11回)	1,200円 (120円×11回)

◆利用対象者

・中学生以上の方（小学生以下のご利用、入場はできません）

◆その他

・トレーニング室をご利用いただくには、初回に無料のトレーニング講習会を受講いただく必要があります。（※要予約）
・講習会の開催日は、市ホームページまたは、P18をご覧ください。
・運動のできる服装と、上履きをお持ちください。

十四山スポーツセンター	利用できる曜日と時間	
	火～土曜日	午前9時～午後9時15分
	日曜日・祝日	午前9時～午後4時45分

問 十四山スポーツセンター　☎52－2110

広島研修

忘却と闘うヒロシマ

弥富北中学校　梅林 優奈

目がくらむ一瞬の閃光。あたりを見わたすとそこには何もない。一体何が起こったのか。1945年8月6日午前8時15分原子爆弾がアメリカにより投下され、爆発。場所は広島の上空600メートル。たくさんの死者を出したこの出来事。広島は一瞬で焼け野原になった。

実際に研修に行き、私は衝撃を受けた。そこで私が目にしたものとは･･･。

「あの日もいつもと変わらない生活をしていた。すると突然、雷が落ちたような地球がわれたような今までに体験したことないことが起きた。外に出てみても何も変わっていなかった。だから、化学工場でも爆発したのかと思った。夕方になると汽車の中からは火傷した人、血を流している人が次々と降りてきた。その時に、朝体験したあの出来事は広島市内で起こったことを知らされた。次の日、広島市内に住んでいる姉を母と2人で探しにいった。プラットホームに降りるとものすごいにおいがした。街は焼けてしまい似島がポツンと見えた。とてもあざやかだった。いつもは建物で見えなかったが、焼け野原になっていたためはっきりと見えたことを覚えている。焼け野原には死体がたくさん転がっていた。火傷した皮膚が爪の先からたれている人。半分裸の人。目玉がとびでている人。体から内臓が出ている人。舌が炭のようにこげている人。とても私と同じ人間とは思えなかった。姉の勤めている赤十字病院には血だらけの人だらけだった。看護婦・医師あわせて69人死亡。だから、病院はとても混雑していた。今思えば助けてあげればよかったと思った。平和な世の中がいつまでも続いてほしいと願っている。」

直接、被爆した方から話を聞くことができて貴重な体験になった。日本が今平和なのは当たり前ではないということを初めて知った。戦争は人間が始めたこと。だから人間が責任をもって語り継がなければいけない。体験した方の言葉は私の心にささった。

戦争の悲惨さは言葉でも伝わるし、歌でも伝わる。「死んだ男の残したものは」は、私の心にとても響いた。真剣に耳を傾け聴いていると、思わず涙があふれてきそうになった。普通のピアノでは涙は出ることはなかったと思う。被爆したピアノが奏でるからここまで私の心に響いたのだと思う。このピアノが私に訴えてきたことは今もまだ心に残っている。

広島研修を終えて、平和って幸せだなと強く思った。日本が戦争していた頃は、たくさんの人が毎日亡くなっていたと思うととても耐えがたい。日本が戦争をしていたのは73年も前。生きている人が少なくなってきた。にもかかわらず、直接、被爆者の方から話を聞くことができた。もうこのような機会は滅多にないこと。とても貴重な体験になった。今でも世界では戦争をしている国がある。広島みたいになってほしくない。平和というものを体験してほしい。たくさんの残酷な写真を見てそう感じた。私たちにできることは何か。研修の時にずっと考えていた。私たちにできることは語り継ぐことだ。人の心に響くように話すことだ。小さいことからやっていこうと心の中で誓った。「本当の平和は自然とつくられる」と思う。しかし、土台をつくらないことには始まらない。だから私は、平和の種をまこうと思った。